

ある。戦後最大の歴史的岐路。戦争する国にしないためにぜひ署名にご協力を！」と訴えました。

このとりくみで、3000万人署名を49人集め、チラシ650枚を配布しました。引き続き、東京地評宣伝カーは、巣鴨、上野、本郷3丁目を回り、署名の訴えを行いました。巣鴨でも上野でも「がんばってくれ」「安倍はどうしようもない。早くやめさせよう」の声がかかりました。

札幌 「戦争はいや」の声が相次いだ署名行動＝9日、札幌市

安倍9条改憲を断じて許さない意志を込め3000万署名を広げようと、北海道憲法共同センターは9日、「9の日行動」を札幌市で繰り広げました。「安倍改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」の横断幕やのぼりが冷たい雨にぬれる市内繁華街。道行く人に署名を呼びかけると、次々に応じました。



豊平区の女性（77）は「戦争を経験しているから9条改憲に絶対反対です」と語り、「憲法で生きる権利が保障されているのに、それが奪われてしまいます」と署名しました。

これに先立つ「ヒバクシャ国際署名」での訴えを聞いて原爆の悲惨さがわかったという女性（19）は、「話を聞いていたら、涙が出てきてしまいました。戦争は絶対にいやです。みんなが悲しい思いをすることになってしまいます」と、戻ってきて署名しました。

また、会社員の女性（20）は「学校で憲法9条の勉強をしてきました。戦争はいけないとずっと思っていた」と語りました。

日本共産党の島山和也前衆院議員（参院道選挙区予定候補）は、二度と戦争しないと決めたのが憲法9条だと指摘し、「9条を改憲すれば、誓いを破ることになってしまう。安倍首相は『何も変わらない』と言いますが、それなら変える必要はありません」と力を込め、訴えました。

自治労連 巣鴨で「3000万人署名」と「ヒバクシャ国際署名」に訴える！

自治労連本部は9日、巣鴨地蔵通り商店街で、「安倍9条改憲NO！3000万人署名」と「ヒバクシャ国際署名」の宣伝・署名行動を行いました。

マイクを握った猿橋均委員長は、安倍首相が狙う9条改憲にふれ、「憲法9条は世界の手本であり、宝です。日本を戦争する国にしてしまう大改悪は絶対に許してはいけません。改憲の国会発議のねらいを3000万人を超える署名の世論で打ち破ろう」と訴えました。

他の弁士からは「唯一、戦争で核兵器の被害を受けた日本こそ、核兵器禁止条約を批准し、核兵器廃絶の先頭に立つべきだ」等と、署名が呼びかけられました。

商店街には年配の買い物客が目立ち、署名をしながら「小学生の時に戦争を体験した」「安倍首相は本当に怖い」と話す人や、黙々と署名した後に力強く「頑張ってください」と激励する人もいました。宣伝行動ではカンパ1400円も寄せられました。

安倍内閣の支持率3ポイント減、 「憲法9条を変える必要はない」が38%！

—NHKの世論調査 1月6日から3日間—

NHKが新年初の世論調査結果を発表しましたが、それを見ますと、安倍内閣の支持率は3ポイント減少し46%で、不支持は2ポイント増えて37%でした。また、安倍氏が引き続き自民党総裁に選ばれ、総理大臣を続けることに賛成が28%、反対が31%と反対が多い結果となりました。さらに、憲法9条への自衛隊の明記について、どうすべきかとの問いには、2項維持、削除よりも「憲法9条を変える必要はない」が38%と一番多くなりました。

1. 安倍内閣を「支持する」先月の調査より3ポイント下がって46%
「支持しない」2ポイント上がって37%。
 2. 支持する理由では、
 - ・「他の内閣より良さそうだから」が50%
 - ・「支持する政党の内閣だから」と「実行力があるから」がいずれも15%
- 支持しない理由では、



- ・「人柄が信頼できないから」が39% ・「政策に期待が持てないから」が32%
- ・「支持する政党の内閣でないから」と「他の内閣の方が良さそうだから」が8%
- 3. 第2次安倍内閣の発足から5年間の取り組みを評価するか
 - ・「大いに評価する」が7% ・「ある程度評価する」が47%
 - ・「あまり評価しない」が29% ・「まったく評価しない」が11%
- 4. 安倍総理大臣が引き続き自民党総裁に選ばれ、総理大臣を続けることに賛成か反対か
 - ・「賛成」が28% ・「反対」が31% 「どちらともいえない」が37%
- 5. 自民党の憲法改正推進本部は、自衛隊の明記に関する論点整理で、戦力の不保持などを定めた9条2項を維持する案と削除する案の両論を併記しました。憲法9条への自衛隊の明記について、どうすべきだと思う
 - ・「9条2項を維持して、自衛隊の存在を追記する」が16%
 - ・「9条2項を削除して、自衛隊の目的などを明確にする」が30%
 - ・「憲法9条を変える必要はない」が38%

12月8～11日に実施した時事通信の世論調査では、憲法改正の発議を22日召集の通常国会で行うべきかどうかについて、「反対」が68.4%と7割近くに上りました。安倍内閣の支持率は前月比2.8ポイント減の42.6%、不支持率は同1.0ポイント減の36.1%でした。

これらを見ますと、安倍内閣の支持率は減少傾向であることが明らかです。また、国民は9条に自衛隊を明記することについては、2項を維持案、削除案より「憲法9条を変える必要はない」が思い、さらに22日からの通常国会での憲法改正発議を行うべきでないと思っていることが明らかになりました。

さらに、世論を変えるために、3000万人署名を大きく成功させましょう。

各地のとくくみ

大阪 市民団体が宣伝 6野党勢ぞろい新春宣伝

市民団体「みんなで選挙☆ミナセン大阪」は7日、「安倍政権の暴走にストップをかけよう！」と大阪市北区梅田のHEP NAVIO（へっぴなびお）前で、野党6党の代表が勢ぞろいした新春街頭宣伝を行い、「安倍9条改憲NO！3000万署名」を呼びかけました。

日本共産党の辰巳孝太郎参院議員が、立憲民主党の森山浩行衆院議員、自由党の渡辺義彦元衆院議員、社民党の服部良一元衆院議員、新社会党の山下慶喜茨木市議、緑の党の高橋登泉大津市議とともに訴えました。

辰巳氏は、森友・加計疑惑をはじめ、北朝鮮問題、沖縄米軍基地問題、残業代ゼロ法案、9条改憲などで安倍政権を批判し「野党が力を合わせれば必ず安倍政権を倒すことができます。来年の参院選挙、統一地方選挙で野党にみなさんのご支援をお願いします」と呼びかけました。

森山氏は「国民・市民のみなさんの願いは、なんとか今の平和を守っていこう、立憲主義を守って憲法の枠内で政治をやろうということ。この当たり前のことを継続していくための運動を、みなさんとともに、さらに前進をさせていきたい」と訴えました。



国会開会日行動のご案内

■ 1・22「安倍9条改憲NO！ 森友・加計疑惑徹底追及！ 戦争煽るな！

共謀罪廃止！安倍内閣退陣！1・22国会開会日行動」へ

- ・とき 1月22日（月）12時～ ・ところ 衆議院第二議員会館前
- ・主催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、共謀罪NO！実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション

■ 1・22 共謀罪法の廃止を求める院内集会（仮）

- ・とき 1月22日13時30分～15時 ・ところ 参議院議員会館
- ・主催 共謀罪廃止のための連絡会